

平成29年度 第3回我孫子市総合教育会議概要

- 件名／平成29年度 第3回我孫子市総合教育会議
- 日時／平成30年2月8日（木） 16：00～17：30
- 場所／市役所分館 大会議室
- 出席者／星野市長、倉部教育長、豊島教育委員、長谷川教育委員、足立教育委員、蒲田教育委員・小島教育総務部長、小林生涯学習部長
（総務課）山田課長、森田主幹、菊地主事
（学校教育課）大島課長
（指導課）羽場課長、横山課長補佐
（教育研究所）土山所長
（文化・スポーツ課）鈴木課長、小林主幹
（子ども相談課）三澤参事、遠藤主幹
（秘書広報課）松谷参事、高見澤課長補佐
- 傍聴人／0名
- 協議・調整事項
 1. 平成30年度当初予算について
 2. 我孫子市子ども発達支援計画について

【平成30年度当初予算について】

平成30年度教育費の編成状況を基に、教育委員会各課の事業等について、教育委員会総務課から概要の説明を行った。

【意見交換】

（市民体育館維持補修について）

・テニスコートの利用頻度は非常に高くなっていることから、改修工事が実施されることは、市民にとっても大変有り難いことである。

・予算配分の大きい体育施設と文化施設の整備状況はどうなっているのか。

（学校図書館活用の推進について）

・学校図書室の充実が図られるよう、予算を配分していただきたい。

・学校図書室の現状を確認し、子どもたちが読みたい本、子どもたちに読ませたい本を見極めながら、整備していく必要がある。

・全ての小中学校に毎年多くの図書を購入することは難しい。検索機能など、ネットワークを活用して、各校に渡すよう配慮してあげることが大切である。

- ・現在ある学校図書を充実させ、授業に活かすために学校司書（図書支援員）を少しずつでも増やしていくことが必要である。

- ・学校の図書室と市民図書館の連携について、教育委員会で検討を行い、改めて意見交換を行う。

（小中一貫教育の推進について・国際理解教育の推進について）

- ・小中学校コンピューターの環境整備が推進されることは、ありがたいことである。また、英語教育は大変重要なので、国際理解教育の推進にも力を入れるべきである。

- ・国際理解教育の推進は31年度以降ではなく、31年度からは実施をしていきたいと考えている。

- ・ALTを配置している教室と配置していない教室では、授業の緊張感が違うように感じた。ALTの増員は重要と考える。

【我孫子市子ども発達支援計画について】

我孫子市子ども発達支援計画（案）について、子ども相談課より概要の説明を行った。

- ・支援が必要と思われる子どもでも、親が気付かない場合や目に見えないこともあり、子ども発達支援計画が非常に意義のあるものとなってくる。市と教育委員会がしっかり連携をとって、子どもをサポートしていくことが重要である。

- ・保育・保健医療、教育、就労支援等の関係機関と連携した支援体制の構築は非常に心強く感じる。子どものライフステージに応じた支援体系の中で基本理念を明確に示してもよいのではないか。

- ・東葛地域には小児の神経内科の先生が少ない。子どもたちのケアに対しては、しっかりと予算を確保し支援していただきたい。

- ・子ども発達センターの存在は大変大きい。計画に掲げる5つの目標（早期発見の促進・療育支援の拡充・家族支援の充実・地域支援の充実・教育支援の拡充）をどのように行うのか、役割をきちんと整理し進めていかなければならない。

- ・特別支援学級の教員の不足、受け持ったとしても対応が難しい。教える教員の質の問題などもあり、どのようにしていけばよいのかしっかり考えていかなければならない。

- ・新任の教員は、特別支援学級の実態を知らない状況にあると思う。若い時

から現状をしっかり認識してもらうことも今後に繋がっていくのだと思う。

・小中学校と子ども発達センターがしっかり連携して、継続した指導を確認しながら進めていく。学校へは子ども発達センターの職員を派遣もかのようなので、学校側からも意見をあげていただきたい。